



Team mobilcast IMPUL ダブルタイトル獲得

いよいよ今年の締めくくりとなる全日本選手権フォーミュラ・ニッポン最終戦は、11月18日（日）、鈴鹿サーキットで行なわれた。決勝レースでは小暮卓史（PIAA NAKAJIMA）がトップチェッカー。ブノワ・トレルイエ（mobilecast IMPUL）がリタイア、松田次生（mobilecast IMPUL）が5位でゴールした。しかし、決勝後の再車検で、小暮のマシンにスキッドブロックの規定違反があることが判明。小暮は失格処分となり、本山哲（Arabian Oasis IMPUL）が繰り上がって優勝。今年のシリーズチャンピオンは一転、松田が手にすることとなった。

【星野総監督】

フォーミュラニッポンは非常に苦しいシーズンで内容的には負けている部分もあった。オフシーズンに十分な戦闘力UPを施し来シーズンに備えたい。

【松田次生】

チャンピオンの実感は徐々にわいてきました。

来シーズンはNo. 1ゼッケンにふさわしい走りをお見せしたいと思っています。ありがとうございました。

